

曾我兄弟と富士の巻狩ゆかりの地



① 白糸の滝
富士の巻狩の際、源頼朝がそのあまりの美しさに和歌を詠んだといわれる

この上に
いかなる姫やおわすらん
おだまき流す白糸の滝
〔白糸村誌〕より

糸玉から流れ落ちる糸のように滝の水が流れている。滝の上ではどのような姫君が糸を紡いでいるのだろうか。



② お鬚水
源頼朝が鏡のような水面を見ながら、髪のはつれを直したといわれる

凡例マーク

- コンビニエンスストア
- ガソリンスタンド
- 郵便局
- 病院

仇討ちに巻き込まれた王藤内の墓

曾我兄弟の討ち入りの日、備前国(現在の岡山県)の王藤内は、工藤祐経と共に宿舎で宴会をしていました。

王藤内は、運悪く仇討ちの巻き添えにあり、曾我兄弟の弟(曾我五郎時致)に殺害されました。



曾我兄弟にまつわる伝説

曾我兄弟は、岩に隠れ、工藤祐経の討ち入りの相談をしていました。

しかし、滝の音でお互いの声が聞こえなかったため、「大事な話をしているのに心無い滝だな」とつぶやくと、なんと滝の音が一瞬びたりと止みました。



③ 曾我の隠れ岩
曾我兄弟が身を潜め、工藤祐経の討ち入りの相談をしたといわれる



④ 音止の滝
落差が約25mの滝で、音無の滝ともいわれる



⑤ 工藤祐経の墓
工藤祐経が曾我兄弟に討たれた場所といわれる



⑥ 上井出天神社
相撲の名手だった曾我兄弟の父(河津祐泰)の供養のため、奉納相撲が始まったともいわれる



⑦ 井出家高麗門・長屋
この周辺に源頼朝の宿舎「富士野神野御旅館」があったといわれる



⑧ 狩宿の下馬ザクラ
源頼朝が馬から下り、この桜に馬をつないだことから「駒止めの桜」ともいわれる



⑨ 曾我八幡宮
建久8(1197)年、源頼朝が畠山重忠に命じて曾我兄弟を祀らせたといわれる



⑩ 曾我兄弟の霊地
曾我兄弟の兄(曾我十郎祐成)が、仁田四郎忠常に討たれた場所といわれる

源頼朝 巻狩の地 ロゴマーク



源頼朝が富士の巻狩を行った富士宮をPRするロゴマークを使って、お土産やふるさと納税記念品などのオリジナル商品を作りませんか。

詳しくは、市公式ウェブサイトを確認できます。

問 観光課 ☎22-1155

HP トップページ>観光>大河ドラマ「鎌倉殿の13人」>「源頼朝巻狩の地 富士宮」PRロゴマーク



いざ富士宮! 鎌倉時代の富士宮探訪 冊子配布



鎌倉時代の富士宮市にまつわる歴史や史跡をまとめた冊子を無料で配布しています。

所 市役所・出張所・公民館・図書館・文化会館・交流センター

問 文化課 ☎22-1187

HP トップページ>市民の皆さんへ>教育・文化・スポーツ>文化財>「いざ富士宮! 鎌倉時代の富士宮探訪」発刊

